大仙市立中仙小学校　学校報

輝く ひとみII

令和３年度 第15号
令和３年５月２５日

学校教育目標　　ゆめにむかって えがおいっぱい みんなでチャレンジ

＜秋の収穫を楽しみにして＞

サツマイモの苗の植え付けを行いました

朝の小雨で心配しましたが、植え付けの時間帯は曇り空でしたので天候はまずまずです。ただ、畑はかなり湿っており、長靴なしでは手ごわい状況でした。グループ表示も６年生の協力で素敵な看板が準備できていましたので、とても作業しやすく、場所も分かりやすい畑になっていました。今年から、自分たちで世話をする意識を高めるために、どんぱんグループによる活動としました。低学年は高学年の助けをもらいながら、中学年はこれまでの経験を生かして自分で、というように、植え付けは和気あいあいと進められました。秋の収穫まで、グループごとの自主的な活動（水遣り、草取り等）が行われます。この日の活動と同様、「花いっぱい活動」（花壇とプランター）もどんぱんグループで行われます。「花いっぱい活動」は、来週３日（木）の予定です。

「全国学テ」、間もなく

全国学テは、全国学力学習状況調査の略称です。この学テが、今年も六年生を対象に明後日27日に行われます。競争ではないけれど、学力の全国大会です。（昨年度は未実施でした。）

六年部ではこれに向けた対策を進めています。まずは、出題に慣れることです。普段のテストには無い、問題文が長～い出題が多いからです。本番では、長～い文を読み解き、粘り強く取り組めるよう願っています。

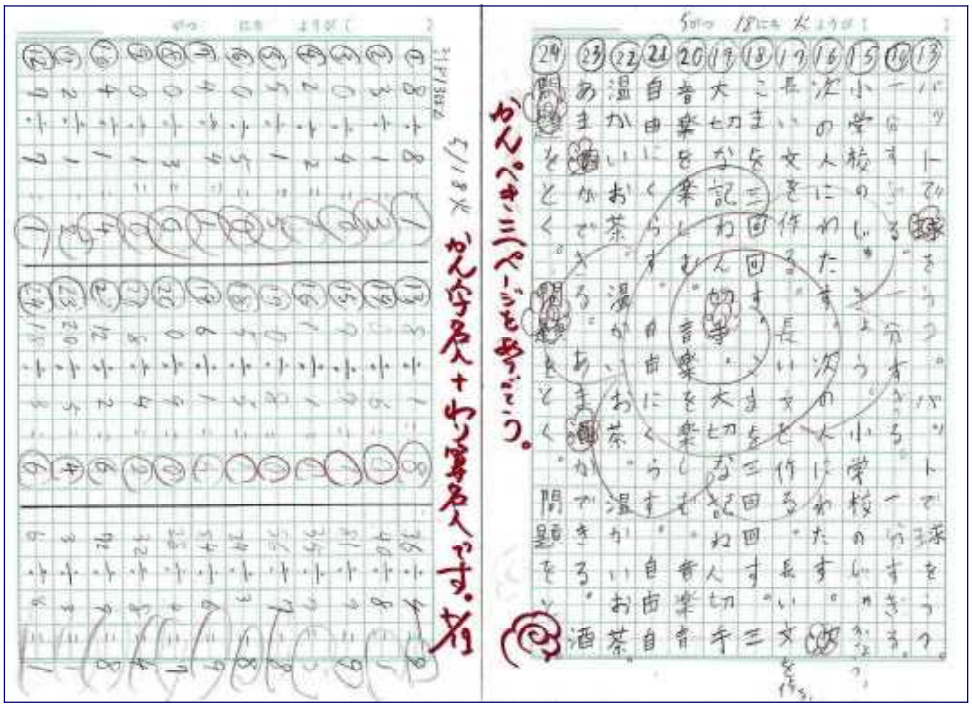
植物の発芽に触れる体験

一年教室、二年教室の窓の下に並んだ青い鉢。今年も生活科の栽培活動が始まりました。（一年生はアサガオ、二年生はミニトマト）朝の登校後、早速、水遣りに向かう子どもたち。毎日毎日、とても熱心です。そして、いよいよ芽が出始めました。「出たよ、出たよ。」の大喜び。自分で育てている感をたっぷりと表現しています。学習としてはもちろんですが、人間力の一つとしてこのような体験を積み重ねていく重要性を感じています。

３年・５年　花壇の除草

サツマイモ苗植えと同じ日の午後、３年生と５年生が花壇の球根掘りと除草をしてくれました。花いっぱい活動に向けた準備です。軍手が土で真っ黒になるほど、熱心にがんばってくれました。このような難儀な活動にも負けず、粘り強くがんばれるのも、本校の子どもたちです。

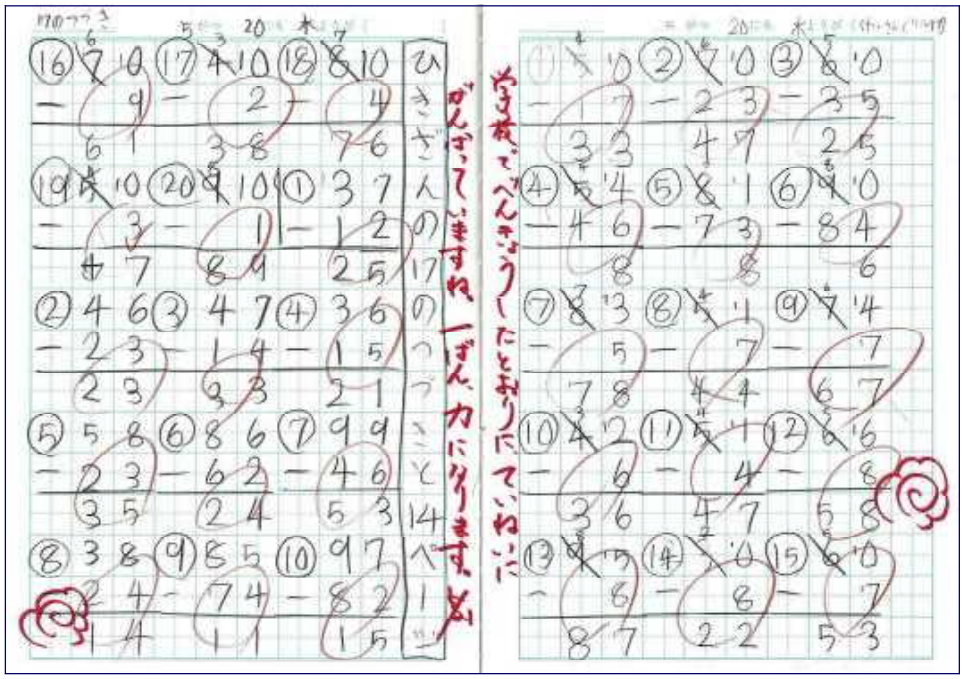
＜一人勉強ノートの紹介＞



三年　齊藤龍汰（りゅうた）さんのノートです。

この日は、三年生全員が三ページのがんばりでした。龍汰さんは、一ページ目の始めから三ページ目の終わりまで、まったく丁寧さが変わっていませんでした。ノートも、勉強の内容によって向きを変え、たくさん学習できるようにしていますね。

＜一人勉強ノートの紹介＞



二年　村上優歩（ゆあ）さんのノートです。

この日は、計算二ページ、その前は漢字二ページでした。マスいっぱいの文字で筆圧十分、線引きは定規を使うという、当たり前のことを当然のように行っています。実はこの当たり前が難しいと思います。